

安井建築設計事務所は、1924年に現社長・佐野吉彦の祖父・安井武雄（1884〜1955）が創設した。現在、本社である大阪のほかに東京・名古屋に設計チームの主要な拠点を置いている。設計・構造・設備・都市計画等各分野の専門家を含む355名の社員（そのうち一級建築士195名）から成る、独立した総合型の建築設計組織であり、いくつものグループ企業、海外拠点（台北、ハノイなど）を有する。



大阪国際空港(伊丹)旅客ターミナル
(大阪府豊中市、竣工:1969年、
改修2020年竣工予定)



サントリーホール
(東京都港区、竣工:1986年、
重点改修:2007年・2017年)

また業界に先駆けてBIM(Building Information Modeling)による設計手法を導入し、さらにBIMを用いた施設の維持管理支援などで新たなビジネス創造に取り組んでいる。

株式会社安井建築設計事務所

- 資本金: 8,000万円
- 設立: 1924年4月
- 従業員数: 355名(2019年6月1日現在)
- 本社所在地: 〒540-0034
大阪府大阪市中央区島町2-4-7
- 事業内容: 建築の設計監理、都市の設計監理
ICT、環境デザイン、
コンサルティング、
ファシリティマネジメント
リニューアル・調査・診断
- URL: <https://www.yasui-archi.co.jp/>

は今も健在で、竣工当時の姿をそのまま継承し、それぞれが文化財としても高く評価されている。戦後の作品では、山崎蒸溜所製麦場から始まるサントリーの工場・本社社屋・サントリーホールなどの諸施設、大阪国際空港(伊丹)の新築・増築・現在の大規模改修、JR大阪駅のサウスゲートビルディング、東京国立博物館の諸施設、東京汐留ビルディング、リゾートトラストのラグーナベイコート倶楽部(ホテル)などを手がけ、設計を通してさまざまなクライアントとの関係を長く維持することに成功している。

MESSAGE

ワクワクする未来をつくる

社長

佐野吉彦

さの よしひこ



創業95周年を迎えた今春、安井建築設計事務所は、経営の「中心となる理念」を「人やまちを元気にする」と定めています。そこに、「新しい建築が生まれること」によって、人は意欲や勇氣を感じ取ります。建築ができていくプロセスもまた、人をワクワクさせ、心を前向きにさせるものです。仕事を通じて、われわれ自身が、そして社会が元気になることを目指します」というメッセージを込めました。建築設計とは望ましい未来を構想する仕事に違いありませんから、社員に対しては、それをなりわいとする者としての誇りと情熱を持ち、皆でこの理念を極めていくのではないかと呼びかけています。どうぞご期待ください。